

エリック・クラウス (Eric Kraus)

クラウス氏は 1989 年、材料設計・開発部門の R&D 技術者としてフランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA) に加わった。その後、有機材料設計・合成部門長、複合サブアセンブリーの設計・製造に取り組む研究室の室長等を歴任。2004 年にはプルトニウム管理・リサイクル業務を担う部門の責任者に就任。その後 CEA モロンヴィエール研究開発センター長となり、2009 年まで務めた。その後、原子力技術部門長に任命。200 名以上の職員を統括し、第 2 世代・第 3 世代原子炉の新技术開発のみならず次世代原子炉開発も監督。2015 年以降は原子力エネルギー部門の解体・廃止措置本部副本部長を務めている。同本部は、研究開発、プロジェクト管理、予算管理等、D&D に関わる CEA の全ての活動の監督・管理を行っている。